

## 第18回法人会全国女性フォーラム(広島大会)参加報告

女性部会副会長 井上 真理子

第18回法人会全国女性フォーラム広島大会が、4月18日(木)広島グリーンアリーナに、1700名を超える女性部会員が集い、盛大に開催されました。鳴門法人会女性部会からは5名が参加しました。

第1部記念講演では、広島交響楽団桂冠指揮者下野竜也氏が「音楽・師との出会い～今、我々に求められること～」との演題で講演されました。国際的に華やかな活躍をなさる下野氏もご自身のお子様の目には、適当に棒を振っている人に映っているという言葉に、緊張がほぐれ、会場に共感の笑いが起こりました。元大阪フィル故朝比奈隆氏より老子の哲学を学び、ウィーンに留学し、外国人としての目線で物事を見ることができるようになったこと、指揮者秋山和義氏、岩佐雄二氏からは「キャリアアップは、焦ること、いそぐことはない、ゆっくりやりなさい、また若手の教育を実践する力をつけなさい。」と指導されたことなどを話されました。その後、下野氏指揮により広島ウインドオーケストラの演奏を聴かせていただきました。楽しそうに指揮棒を振る下野氏の姿は、会場の女性部会員達に音楽をより身近に感じさせてくれた気がしました。

第2部では、まず、税に関する絵はがきコンクール約24万の応募作品の中から全法連女連協会会長賞受賞12作品がスクリーンで紹介されました。このコンクールは、広島福山法人会が平成13年に全国で初めて始めた取り組みであることを知り、全法連女連協が事業として推進し始めたのが平成21年というのも分かりました。式典は、広島県連女連協の古屋由利子会長の歓迎の挨拶で始まり、全法連女連協石異島明子会長と全法連小林栄三会長が主催者を代表して挨拶され、国税庁課税部長、広島県知事、広島市長他来賓の方々から祝辞をいただいた後、広島法人会16女性部会の租税教育活動、社会貢献活動がスクリーンで報告されました。つづいて、全法連女連協村上康恵副会長により大会宣言が読み上げられ、大会旗が次回開催地である北海道連女連協泉みち子会長に伝達されました。

第3部の懇親会でのウェルカム演奏会では、原爆被爆ピアノが演奏に使用され、ヴィオラ沖田考司、ピアノ沖田千春ご夫妻による、洋楽、日本の懐かしい音楽が演奏され会場は一体感に包まれました。続いてのアトラクションでは、神楽「八岐大蛇(ヤマタノオロチ)」が演じられました。カラフルな赤、黄、青他8匹の大蛇を須佐之男命が華麗な剣さばきで次々と首をはねていく様は圧巻でした。文化にはその地域の特性、歴史が色濃く反映されていることを神楽の音、光、色、動きの中で感じました。

次回は北海道札幌大会が札幌パークホテルで令和7年9月18日に開催されます。